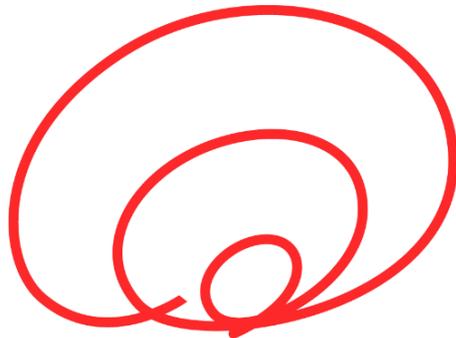
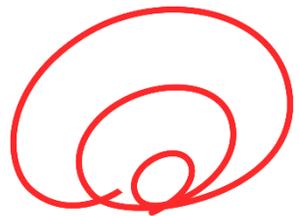


第6次東員町総合計画 効果検証委員会



OMIGOTOIN
健康活躍のまち 東員町

令和6年10月23日



OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

東員町総合計画の将来像

健康活躍のまち東員町

「おみごと！があふれる町へ」

総合計画P.10より

第6次東員町総合計画の将来像の実現に向けて、掲げられた重点施策として、令和5年度に実施された事業やイベント、取り組みに対して報告します。

2 重点施策

将来像の実現に向けて、東員町らしい施策の推進を目指し、重点施策を設定します。

健康で暮らせるまち

誰もが健康で暮らせるよう、フレイル※予防などの健康づくりを進めます。また健康的に活動できるよう、日常の移動手段に新しい技術を取り込んだ交通手段も含めて確保します。

1-1 健康づくりの推進

3-3 高齢者福祉の推進

9-3 公共交通網の維持・確保（総合戦略）



子育てがしやすいまち

子育て世代にとって安心して子育てができる環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めます。

2-1 子育て支援の充実（総合戦略）



稼げるまち

農業を核とした、新しいまちのブランドとなるような農産物づくりに取り組み、稼げるまちづくりとして農業の6次産業化を進めます。

7-1 農業の振興（総合戦略）

7-2 高工業の振興（総合戦略）



協力しあえるまち

まちづくりは行政だけで担えるものではありません。地域の人、企業の皆さん、NPO、ボランティアの方など様々な人々と協力、協働しながら進めます。また、地域間連携として広域的な連携も行いながらまちづくりを進めます。

3-1 主体的で特色のある地域づくりの推進（総合戦略）



人生を豊かにするまち

文化やスポーツなどを通して、東員町らしさを生み出すまちづくりを進めます。

6-3 文化力の向上（総合戦略）

6-4 スポーツの振興（総合戦略）



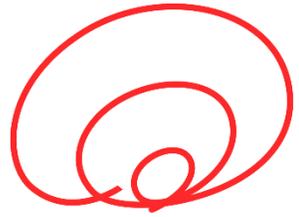
総合計画P.20、21より

東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略にも掲げる施策は（総合戦略）と表記しています。

※注釈

■フレイル

健康から要介護へ移行する中間の段階で具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指す。



OMIGOTOIN
健康活躍のまち 東員町

重点施策その1 健康で暮らせるまち

健康で暮らせるまち

誰もが健康で暮らせるよう、フレイル※予防などの健康づくりを進めます。また健康的に活動できるように、日常の移動手段に新しい技術を取り込んだ交通手段も含めて確保します。

1-1 健康づくりの推進

3-3 高齢者福祉の推進

9-3 公共交通網の維持・確保（総合戦略）



健康で暮らせるまち（実施事業）

・令和3年度から始まった「おでかけ元気パス」の1つの取り組みとしてオレンジバス運賃が半額になります。

令和3年度は16,565回

令和4年度は17,496回

令和5年度は20,165回利用されました。

・令和5年10月から中部公園 パークゴルフ場の半額利用が出来るようになりました。



東員町おでかけ元気パスの特典の追加について
おでかけ元気パスの提示でパークゴルフの利用
実質半額キャンペーン（1回利用につき1回無料）

対象者	75歳以上の方 65歳以上75歳未満の方で運転免許証を返納した方
利用方法	①中部公園管理棟にて利用券を購入します ②管理人が『元気パス』を確認し、利用券にスタンプを押し返却します ③次回『元気パス』の確認とスタンプを押された利用券でパークゴルフ利用可能です
ポイント	※ゴルフ用具のレンタルをご希望の方は、別途レンタル料が必要です ※1回券は1回券、1日券は1日券としてご利用が可能です 1日券を1回券2枚などにご変更はできません ※元気パスをお忘れの方は年齢が確認できるもの（健康保険証など）か、運転経歴証明書のご提示でサービスをご利用いただけます ※元気パスを紛失された方は、健康長寿課での再発行お願い致します ※押印した利用券を紛失された場合は再度ご購入していただく必要がございます（再発行不可）

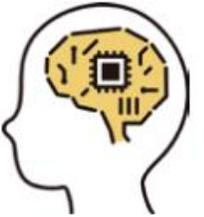
健康で暮らせるまち（実施事業）

・電力スマートメーターから収集した電力データをAI（人工知能）分析することで、高齢者のフレイルリスクを継続的に把握でき、フレイルの早期発見や個別的支援の効率化を推進する取り組みで表彰されました。

※フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階の状態であり、予備能力低下により身体機能障害に陥りやすい状態のことの総称。

特集

電力データ×AIで 健康活躍のまちを目指す



町では、第6次総合計画の基本構想で「健康活躍のまち東員町 おみごと!があふれる町へ」を将来像（目指すべき姿）と位置づけ、健康寿命の延伸を目指しています。

そこで注力しているのがフレイル予防。今回は産官学連携で挑む、電力データとAIを活用した取り組みを紹介します。

東員町が世界初の試みで先導者に

2月14日（水）に東京都で第6回日本オープンイノベーション大賞表彰式が行われました。そこで株式会社JDSC・東京大学大学院・中部電力株式会社・合同会社ネコリコ・東員町が共同構築した取り組み「『電力データ×AIでのフレイル検知』産官学連携で高齢化社会課題に挑む」が選考委員会特別賞を受賞しました。

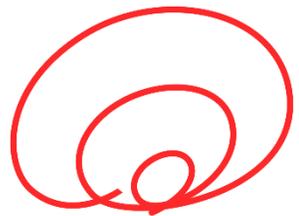
この取り組みは、株式会社JDSCが「フレイル検知AI技術」を開発し、合同会社ネコリコが「システム」の開発・運用、中部電力株式会社が自治体を対象に「フレイル検知サービス」を展開。東員町は世界で初めて令和2年度から実証実験を始め、約2年半の実証を経て、東員町の健康増進事業として正式に採択。令和5年度から「東員町健康サポートサービス事業」として開始しました。

医療費や介護給付費の増加が社会課題となっているなか、自治体は効率的かつ早期のフレイル（虚弱な状

態）発見と適切な関わりが求められています。この取り組みは、電力スマートメーターから収集した電力データをAI（人工知能）が分析することで、高齢者のフレイルリスクを継続的に把握でき、フレイルの早期発見や個別的支援の効率化を推進していくものです。

この取り組みが全国に展開できれば、誰もが日常生活の中でフレイル対策ができるようになる点などが評価され、選考委員会特別賞の受賞となりました。





OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

重点施策その2 子育てがしやすいまち

子育てがしやすいまち

子育て世代にとって安心して子育てができる環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めます。



2-1 子育て支援の充実（総合戦略）

子育てがしやすいまち（実施事業）

・農作物に触れることや東員町の農産物を食べてもらうことで身近に農業を感じてもらうことを目的としています。



8/1 東員町産ブルーベリー贈呈

園児たちに町内で生産された食材に興味を持ってもらおうと、シグマファームとういんが、町内の各幼稚園・保育園にブルーベリーを贈呈しました。贈呈はシグマグループのマスコットキャラクター「しぐまちゃん」が園児たちにブルーベリーを手渡ししました。三和幼稚園・みなみ保育園では翌日の朝のおやつにブルーベリーが出され、園児たちはブルーベリーの甘さに喜びながら、とてもおいしそうに食べていました。



5/24 えんどうまめのさやむき体験

町内の幼保・小学校でえんどうまめのさやむき体験が行われました。この体験は、食育の一環としてえんどうまめの実物に触れることで、食べ物に興味を持ってもらうことを目的としています。この日は、笹尾西幼稚園・笹尾第一保育園の園児が体験を行い、園児たちはえんどうまめに興味津々で、とても楽しそうにさやをむいていました。

子育てがしやすいまち（実施事業）

・地元の自治会と小学校が協同で地域への愛着や誇りを育んでいます。

・町内を走る北勢線のことを学ぶことで公共交通の大切を知ってもらう機会を設けています。



6/6 チョウの里横断幕お披露目式

城山小学校が令和4年度ソニー子ども科学教育プログラム教育実践論文で奨励校として表彰され、その教育助成金で横断幕を作成しました。城山小学校では旅するチョウといわれる、アサギマダラが来る学校として、チョウが好むフジバカマを栽培し、秋に飛来するアサギマダラの観察を行っています。これからもアサギマダラが来る学校として、地域に愛され、子どもたちの誇りとなるよう取り組んでいきます。

とういんプラムトピックスYouTube▶



8/22 北勢線夏休み親子ツアーズ

生活に密着している三岐鉄道北勢線を知り、親しみを持ってもらおうと、北勢線事業運営協議会が夏休み親子ツアーズを開催しました。このツアーでは、改札機の中で切符が動く様子や電車を安全に運行するために指令室で何が行われているかなどの見学をしました。その後北大社車両区で車体について学び、普段と違った電車の様子に参加者は大喜びでした。

とういんプラムトピックスYouTube▶



子育てがしやすいまち（実施事業）

・東員ミュージカルをきっかけに、文化・芸術に触れてもらおうと企画された東員ジュニアミュージカルが初めて実施されました。

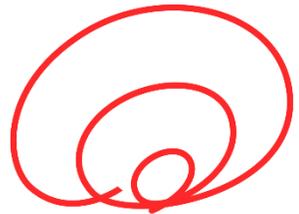


3/3 東員ジュニアミュージカル

地域の子どもたちに東員ミュージカルを通して文化・芸術に触れてもらおうと企画された東員ジュニアミュージカル。公募で集まった小中学生9人と演劇集団ローカルスーパースターズが「私の町、私の夢」と題して、総合文化センターでミュージカルの発表をしました。子どもたちは5回と少ない稽古時間でしたが、驚くほど完成された歌やダンス、演技を披露していました。

とういんプラムトピックスYouTube▶





OMIGOTOIN
健康活躍のまち 東員町

重点施策その3 稼げるまち

稼げるまち

農業を核とした、新しいまちのブランドとなるような農産物づくりに取り組み、稼げるまちづくりとして農業の6次産業化を進めます。

7-1 農業の振興（総合戦略）

7-2 商工業の振興（総合戦略）



稼げるまち（実施事業）

・東員町商工祭をはじめ、中部公園ではさまざまな団体がイベントを実施し、地域の魅力を向上しています。



10/15 東員町商工祭

町の商工業の普及発展や特産品を町内外の人に知ってもらおうと、第40回東員町商工祭が中部公園で開催されました。今年は同日に西美濃・北伊勢観光サミットが東員町で行われたことから、西美濃・北伊勢地方の物産ブースも設けられました。その他にも飲食や雑貨、整体、東員町消防団の消防車が展示されるなど、訪れた人たちはとても楽しそうにしていました。

とういんプラムトピックスYouTube▶



4/16 TOINマルシェ2023

TOINマルシェ2023が中部公園で行われ、町内外のお店が50店舗集まり賑わいました。町の特産品ブースも設けられ、新しく特産品に認定されたやみつき揚げや大豆のミルクハースなどを求め多くの人が集まりました。その他にもキーホルダー作りや整体の体験、キッチンカーも多く並び、子どもから大人まで楽しめるイベントとなりました。

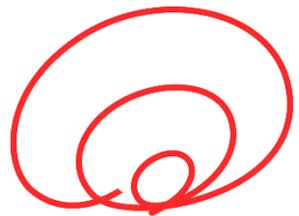
稼げるまち（実施事業）

・TOINマメマチPROJECTの一環としてイオンモール東員のスターバックスコーヒーで東員町産の豆乳を使用したカフェラテが提供されました。



11/3 フードペアリング体験会

イオンモール東員でフードペアリング体験会が行われました。この体験会は、TOINマメマチPROJECTの一環としてイオンモール株式会社から提案を受け実現しました。今回は、スターバックスコーヒーが提供するホットコーヒーに東員町産の大豆まるごと豆乳を混ぜて「カフェラテ」を試飲できるものです。試飲した人は「美味しいコーヒーと濃い豆乳がとてもマッチしています」と話していました。



OMIGOTOIN
健康活躍のまち 東員町

重点施策その4 協力しあえるまち

協力しあえるまち

まちづくりは行政だけで担えるものではありません。地域の人、企業の皆さん、NPO、ボランティアの方など様々な人たちと協力、協働しながら進めます。また、地域間連携として広域的な連携も行いながらまちづくりを進めます。

3-1 主体的で特色のある
地域づくりの推進（総合戦略）



協力しあえるまち（実施事業）

・自立的・持続的な地域づくりやこれからの地域づくりを地域の方たちだけでなく、役場職員も地域とのかかわり方について意識向上を図る研修を行いました。



11/18 地域づくり講演会

地域づくり講演会が保健福祉センターで開かれ、約60人が参加しました。講師に特定非営利活動法人地域づくりの学び舎 大濱 裕氏を招き、自立的・持続的な地域づくりや東員町の地域づくりのこれからについて話がありました。また、長野県飯田市の地域づくりを学んできた笹尾東1丁目自治会が、自分たちの地域でもできることなどを発表し、今後の地域づくりへの意気込みなどを話っていました。

どういんプラムトピックスYouTube▶



1/22 職員向け地域づくり研修会

管理職の職員を対象とした地域づくり研修会が行われ、44人が参加しました。この研修会は、地域づくりの実践指導を行う特定非営利活動法人 地域づくりの学び舎 大濱 裕氏を講師に招き、地域づくりの基本的要素や行政と住民自治との関わり方などについて話がありました。参加した職員は、大濱さんの話に真剣に耳を傾けていました。今後は管理職以外の職員への研修も行い、地域との関わりについて、意識向上を図っていきます。

協力しあえるまち（実施事業）

・東員町の若手農業者とヴィアティン三重の選手が共同して、Toinひまわりプロジェクトとして企画されました。

・自分たちの暮らす地域について、地域の人にもっと知ってもらおうと考えて冊子を作りました。



7/25 Toinひまわりプロジェクト

町内の若手農業者が休耕田の緑肥としてひまわり畑を作成し、併せて町内の観光スポットの一部として活用してもらおうと、ヴィアティン三重と共同でToinひまわりプロジェクトを企画しました。この日はヴィアティン三重の菅野 哲也選手と真田 幸太選手、若手農業者で、LA・PITA東員スタジアム北側の休耕田と中部公園内にひまわりの種をまきました。ひまわりは9月の上旬に見ごろを迎えるそうです。



「ようこそ瀬古泉へ」が完成しました

瀬古泉の暮らしを考える会が、自分たちの暮らす地域について、地域の人にもっと知ってもらおうと「ようこそ瀬古泉へ」を作成しました。この取り組みは「自分の住む地域のことがわからない」という地域の人々の声を聞いて、一念発起したそうです。この冊子は、同地区の年間行事などについて丁寧に紹介されていて、多くの人から「わかりやすい」という声があり、反響が大きいそうです。冊子は自治会員などに配布されました。



OMIGOTOIN
健康活躍のまち 東員町

重点施策その5 人生を豊かにするまち



人生を豊かにするまち

文化やスポーツなどを通して、東員町らしさを生み出すまちづくりを進めます。

6-3 文化力の向上（総合戦略）

6-4 スポーツの振興（総合戦略）



人生を豊かにするまち(実施事業)

第26回 東員町こども歌舞伎公演

第26回東員町こども歌舞伎公演が総合文化センターで行われました。今年の演目は「新版歌祭文 野崎村の場」と「白浪五人男 稲瀬川勢揃いの場」で、子どもたちは日ごろの練習の成果を発揮して、堂々とした演技をしていました。子どもたちの熱演に、観客席からは盛大な拍手が送られていました。



第35回 東員「日本の第九」演奏会団員募集

東員町が誇る日本語で歌う第九。プロのオーケストラの生演奏とともに歌います。歌うのが苦手でも大丈夫！ベテラン指導者がやさしく指導します。中学生以上で初心者、経験者問わず参加をお待ちしています。

- ♪練習日 7月31日(月)から毎週月曜日
※都合により変更することがあります。
- ♪場所 総合文化センター
- ♪参加費 3,000円(中学生は半額)
- ♪演奏会日時 12月17日(日)14:00開演
- ♪申込方法 申込用紙に必要事項を記入の上、東員「日本の第九」運営委員会事務局(社会教育課内)までご持参ください。申込用紙は総合文化センター・町ホームページにあります。
- ♪申込期限 7月21日(金)
- ♪その他 演奏会チケットの販売にご協力いただけます。



町ホームページ▶



第11弾 東員ミュージカルオーディション開催

2013年からスタートした東員ミュージカル。一般公募の地元出演者と演劇集団ローカルスーパースターズが、涙と笑ひ、感動の渦を巻き起こします。これまでも「新しいことに挑戦したい」「東員ミュージカルを親で自分も出演してみたいと思った」など、たくさんのチャレンジが舞台上に奇跡を起こしてきました。最高の仲間と一緒に最高の舞台を作ろう！皆さんの応募お待ちしております！

- ★オーディション日時
7月23日(日)10:00～
総合文化センター 第1講習室
- ★対象 町内・近隣市町在住または在勤で高校生以上の人
※18歳未満の人は保護者の同意が必要
- ★公演日程
11月25日(土)、26日(日)
2回公演(予定)
- ★申込方法 応募用紙に必要事項を記入の上、社会教育課窓口までご持参ください。応募用紙は社会教育課窓口・町ホームページにあります。
- ★申込期限 7月17日(月・祝)



・東員町の三大文化行事は開催回数を重ねていくごとに地域の方に親しまれ、文化力を醸成しています。

人生を豊かにするまち（実施事業）

・スタンプラリー形式でさまざまな運動やヴィアティン三重レディースの選手によるサッカー教室やダンス、バレエの発表会を実施するなど子どもから高齢者まで楽しく運動できるイベントを実施しました。



10/8 とういんスポーツフェスタ withヴィアティン三重

とういんスポーツフェスタがLA・PITA東員スタジアムで行われ、町内外から多くの方が訪れました。来場者は、スタンプラリー形式でさまざまな運動やヴィアティン三重レディースの選手によるサッカー教室に参加していました。また、ダンス・バレエの発表会などもあり、大人から子どもまで楽しめる内容が多く、皆さん思い切り体を動かして楽しんでいました。